

2020年6月30日



キリスト教センター 通信 Vol.6



激励メッセージリレー

タイトル 『 温泉ガハハおばさん 』

神戸国際大学 オルガニスト 伊藤純子 先生

数年前、自然豊かな露天風呂に入っていた時のことです。新緑に包まれ、心を解きほぐしていました。ふと耳に小鳥の声が入ってきました。それはとても美しく、私はとろける思いでした。別世界の時間を味わっていると、ご婦人3人が「ガハハハ〜」と高笑いながら露天風呂に入ってきました。間断ない高笑いの間もずっと、小鳥は歌い続けていました。

この状況は、私に大切な気づきを与えてくれました。もちろん、高笑いとお鳥の声の優劣を付けるつもりはありません。ただひとつ言えることは、私が癒された小鳥の声を、同環境下で感じなかった3人が居た、という事実です。

「耳を傾ける」ことは「心を傾ける」ことに繋がります。それは私たちを変える、強い力を持っています。私たちは毎日、実際にそこにあるのに気付けない事柄に囲まれて、暮らしています。意識して常にアンテナを張って、大切なものに「耳と心を傾ける」チャンスを見失わないようにしたいと思います。

キリスト教 一口メモ 「聖歌」

キリスト教の礼拝では、皆で聖歌を歌います。

聖歌には様々な音楽と、様々な内容のものがあります。

今回のメッセージに関連する聖歌について、歌詞の一部をご紹介します。

♪ 聖歌 447番 3節♪

「耳を澄まし 主の声 聴こう / 道と心理と 命の主に

耳を澄まし 主の声 聴こう / 天の清らな 楽の音を」

新型コロナウイルスの被害を覚えるお祈り

どうか、皆さんもお時間があるときにお祈りください

神戸国際大学の学生のための祈り

いつくしみ深い神よ、新型コロナウイルスの感染拡大により、困難な日々、孤独な状況、不安の中にあるすべての神戸国際大学の学生のみなさんのために祈ります。

どうか、彼ら彼女ら一人ひとりの心を支え、お守りください。そして私たちに、あなたの知恵と力が与えられ、今できることを考え、神さまの、み心になつた正しい行動を心がけることができますように。そして、共に心を合わせて、新型コロナウイルスの一日も早い終息を祈り、求め続けることができますようにお導きください。

このお祈りを、主イエスさまの、み名によっておささげいたします。アーメン

病に苦しむ人のための祈り

慈悲の父、慰めのもとである神よ、現在、新型コロナウイルスに感染し、痛みや苦しみ、不安や悲しみの中にある人のために献げる祈りをお聞きください。

どうか病で困難や不安の中にある人を憐れみ、み恵みによってその体と心を強め、病を癒してください。

また、医師と看護する者とを助け導き、その働きを支えてください。

そして、何もできずに不安と悲しみの中で苦しむご家族やご友人、また、私の心も神さま、あなたが愛によってお救いください。

主イエス・キリストによってお願いいたします。アーメン

離れている大切な人を覚える祈り

愛なる神さま、あなたは、み手を伸べていつも私たちをお守りくださいます。どうか、遠く離れて暮らす家族や友人を様々な困難な状況からお守りください。

そしてこの不安定な世界において、必要な糧が与えられますように。心と体が守られ、健やかに日々を過ごすことができますように、どうかあなたがお支えください。

また、不安の中で医療に従事する人々のために祈ります。どうか一人ひとりの働きが祝福され、感染者の回復を助け、支える力をお与えください。そして彼らが感染から守られ、新型コロナウイルスの終息に向かうことができますように。

この小さなお祈りをイエスさまによってお願いいたします。アーメン